

山目中学校

Yamanome Junior High School

校長・加藤清/生徒数・460人/所在地・山目字館46-1/創立・1947(昭和22)年

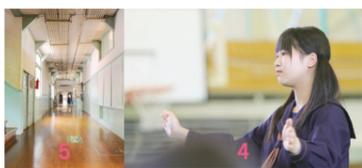


1

1 山目中最後の生徒460人が、美しい歌声で有終の美を飾った/2 校旗返納/3 記念碑の除幕式/4 真剣な表情で指揮をする嶋明日香さん(3年)/5 生徒らに58年間親しまれた山目中の旧校舎



3



4

山目中学校の閉校式は3月21日に行われ、生徒や教職員、卒業生ら約600人が学びやに感謝を伝えました。山目中は、1947年に開校。卒業生1万4500人を輩出しています。96年に全日本合唱コンクール全国大会で金賞を受賞。02年には、岩手県中学校英語弁論大会暗唱部門・自作部門最優秀賞に輝きました。また、10年と14年には体操部が、11年には水泳部が全国大会に出場。文武両道にわたって活躍してきました。

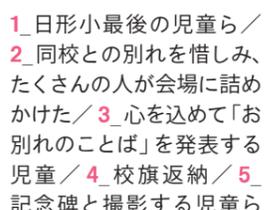
式で加藤清校長は「1、2年生は、山目中から磐井中へのかげ橋になります。3年生は、最後の卒業生。誇りを持ち、力強く歩んでください」とエールを送りました。「お別れの言葉」で生徒代表の千葉満さん(3年)は「学校の歴史の重みを感じた1年でした。山目中では、たくさんの思い出ができました。出会った先生、仲間、すべてが誇りです。山目中で学んだことを胸に、新たな道へ恐れず挑戦していくことを誓います」と前を見据えました。式の最後は、全校生徒460人による合唱「友へ旅立ちのとき」と校歌を斉唱。68年の歴史に幕を下ろしました。



閉校

—サヨナラ、わが母校—

Good bye, my school. I will miss you



1 日形小最後の児童ら/2 同校との別れを惜しみ、たくさんの人が会場に詰めかけた/3 心を込めて「お別れのこぼ」を発表する児童/4 校旗返納/5 記念碑と撮影する児童ら



中里中学校

Nakasato Junior High School

校長・菊池裕/生徒数・78人/所在地・蘭梅町104-1/創立・1947(昭和22)年



1 中里中で受け継がれてきた伝統の鶏舞を披露/2 真剣な表情で式にのぞむ生徒ら/3 校舎の外観などが刻まれた記念碑/4 全員で校歌を思いをはせた/5 出席者が見守る中、校旗が返納された

中里中学校の閉校式は3月22日に行われ、生徒、教職員、地域の住民ら約500人が地域と共に歩んできた学びやに別れを告げました。中里中は1947年に開校し、卒業生5926人を輩出。89年に、読書全国小中学校作文全国特選表彰、90年に小さな親切全国表彰、92年にPTAの文部大臣表彰を受賞。郷土芸能の鶏舞を地域を挙げて、伝承してきました。式で菊池裕校長は「本校の生徒は、先輩が培ってきた伝統を継承、発展させよう」とひたむきに取り組む生徒です。地域、家

庭、学校の強い絆は、統合後も受け継がれ、大きく発展すると確信しています」とあいさつ。「お別れの言葉」で小野寺萌佳さん(3年)は「中里中は、地域全体で育まれ、温かく見守られてきました。母校は、心の中に生き続けます。ありがとう中里中。そして、さようなら」と感謝の言葉を述べました。最後に、出席者全員で校歌を斉唱し、校舎に別れを告げました。式終了後は、同校で長年受け継がれてきた郷土芸能の鶏舞を生徒が熱演。躍動感あふれる最後の舞いに会場から惜しみない拍手が送られました。

日形小学校

Hikata Elementary School

校長・佐藤和也/児童数・16人/所在地・日形字町裏131/創立・1873(明治6)年

日形小学校の閉校式は3月21日、同校体育館で行われ、学校関係者ら約300人が141年の歴史を紡いできた同校との別れを惜しみました。同地区は、花泉町東部に位置する農村地帯。北上川がすぐそばを流れ、幾度となく水害に襲われてきました。その度に苦難を乗り越えてきた先人のたくましさを受け継ぎながら、郷土を愛する心を育んできました。同校は、1873年に雄風小学校として創立。これまで6度にわたり校名を変え、現在に至ります。年1984年に、同地域の伝統芸能「日形太鼓」を創設。地域全体で継承活動に力を入れてきました。式で、鈴木功市教育委員会委員長は「長年培われてきた伝統と歴史は失われるものではなく、それらを継承し、新たなスタートを切ってほしい」と告辞。勝部修市長は「日形小の歴史は幕を閉じることが、同校で学んだことや頑張ってきたことを胸に、堂々と誇りと自信をもつ

て新たな一歩を踏み出してください」と児童にエールを送りました。佐藤和也校長は「いつの時代も教育課題に向き合い、児童のために教員、保護者や地域が支えてくれた」と感謝し、「子供たちが日形小で学んだことは、統合する老松小へと引き継がれると確信しています。新たなステージで時代を切り開く子供たちを、これからも応援してください」とあいさつ。全校児童による「お別れのこぼ」では、明治、大正、昭和、平成と4つの時代を歩んできた学校の歴史を発表。運動会やレクリエーションなど、同校で過ごした思い出を振り返りました。終わりに「古里・日形を大切に、新しい学校でも頑張ります」と声をそろえ、誓いました。最後に、子供たちの成長を見守り続けてきた校旗を、佐藤校長が鈴木市教育委員会委員長へ返納。会場は、感謝の拍手に包まれました。それぞれに思いをはせながら、全員で校歌を斉唱。日形小はその長い歴史に幕を下ろしました。